

交通安全教室（勿来高校・合同）

6月27日（火）に、勿来高校の3学年（52名）・くぼた校2・3学年（13名）が参加し、交通安全教室を行いました。今回は、JAFの方がいらして、シートベルトコンバーサー（模擬衝突体験機）での体験を通して、シートベルトの重要性について学びました。



《時速5キロで、急ブレーキをかけた時の体験をしました》



体験の直後は、「こわーい」「楽しい」「もう一回やりたい」など、アトラクションを体験したような声が挙がっていましたが、『シートベルトをつけていなかったらどうなるか』『時速60キロのときの急ブレーキだったらどうなるか』などについて事後に考えることで、生徒達はシートベルトの重要性に気づくことができ、とても貴重な体験学習となりました。

《生徒の感想（抜粋）》

シートベルトをしないと怖いと思いました。

シートベルトのたっせさをまなびました。

いつもシートベルトをしてるけどシートベルトがあることを心かける。

うんてんしやにせきにんがある事がわかりました。

「後部座席もシートベルトをしめましょう」

「シートベルトをしめないと、運転手の責任になります」

「家族などにも、シートベルトの着用をよびかけてください」

